

平成28年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	長野 寛
	全体計画			経費区分	-	内線	3254
事務事業名	4136 生活雑排水対策事業						
所 属	140100 環境部・生活環境課						
施 策	03011100 環境を守る活動の推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	040106 衛生費・保健衛生費・公害対策費					
	事業	020000 生活雑排水対策事業					
事業目的				事業概要・効果			
公共下水道に接続する世帯数の増加と、未接続世帯の排水について河川等の水質維持を図るため、生活排水の適正な処理を行う。				生活排水(し尿を除く)脱水処理、運搬、堆肥化处理業務を業者に委託し適正に処理する。 河川の水質維持のため、個人設置型の浄化槽に対する設置費用の補助を行う。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 予定
浄化槽設置補助件数 0件 生活排水汚泥処理量 (中間処理) 236,860ℓ	浄化槽設置補助件数 1件 生活排水汚泥処理量 (中間処理) 220,000ℓ
平成29年度 予定	平成30年度 予定
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	生活排水汚泥処理量（中間処理）					
算式					単位	ℓ
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標	220,000				
	実績					
指標選定の理由	実績より（H25 287,960、H26 264,200、H27 236,860）					
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式					単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式					単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

（単位：千円）

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		3,016	3,989
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	182
	地方債	0	0
	その他	0	3,400
一般財源		3,016	407
人員数 (人)	正規職員	0.2	0.2
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	1,441.6	1,441.6
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	1,441.6	1,441.6
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		4,457.6	5,430.6

（単位：千円）

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	2,748	中間処理2,609、運搬36、最終処分103
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	41	県浄化槽推進協議会負担金
その他	227	循環型社会形成推進交付金国庫補助金返還金

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	3,400	中間処理3,225、運搬45、最終処分130
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	589	県浄化槽推進協議会負担金41、小型合併処理浄化槽設置補助金548
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	一般家庭から排出される雑排水が河川の水質汚濁の原因となっていることから、河川等の水質維持を図るため、生活排水の適正な処理を行う。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	河川の水質汚濁の原因となる一般家庭から排出される生活排水の適正な処理を行った。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	河川の水質汚濁の原因となる一般家庭から排出される生活排水の適正な処理を行った。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

生活排水の汚泥処理（脱水処理、運搬、堆肥化処理）業務を業者に委託し適正に処理した。
 小型合併処理浄化槽設置補助金（事業年度H23-27）について超過交付となる国庫補助金を返還した。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
下水道普及に伴う事業の縮小が予想されるが、当面は事業を継続し、適正な処理を行っていく必要がある。		年間収集基数はなお1500基を超え、河川水質保全のため、現時点ではまだ廃止できない事業と認識している。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	